

第8号議案

社会資本整備総合交付金事業(火山砂防)

あがほまかわしせん やぎさわ しぶかわし
吾妻川支川 八木沢 渋川市

着工年度

平成14年度

評価理由

10年継続

1. 事業の目的

- ・本溪流の流域の地質は脆弱な火山噴出物に覆われており、浸食によりV字谷を形成している。このため、集中豪雨時には土石流の危険がある。
- ・人家13戸、緊急輸送路である国道353号を土砂災害から守るため、砂防堰堤工を整備する。



2. 事業概要と進捗状況

事業概要

事業場所	しぶかわし おのこ 渋川市小野子		
	今回	H15年 計画変更時	事業当初
区分	今回	H15年 計画変更時	事業当初
全体事業費	613百万円	613百万円	530百万円
全体事業費増減の理由		2号堰堤構造変更	
事業期間	H14~H26	H14~H23	H14~H23
事業内容	砂防堰堤工 2基	砂防堰堤工 2基	砂防堰堤工 2基

事業経緯

年度	主な経緯
H14	事業着手
H15	2号堰堤工事着工
H21	2号堰堤完成
H22	1号堰堤用地買収着手

進捗状況

	全体計画	現在の進捗状況 (進捗率) H22末
事業費	613百万円	395百万円 (64.4%)
用地買収	32,347m ²	26,138m ² (80.8%)
事業内容	砂防堰堤 2基	砂防堰堤 1基 (50.0%)

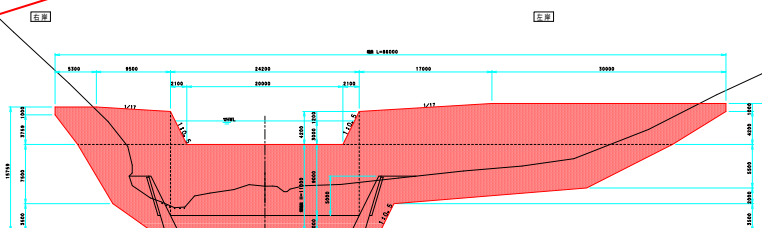
2. 事業概要と進捗状況(図面・写真等)



2号堰堤(平成21年度完成)



1号堰堤(未施工)



3. 事業の目的・必要性に変化はあるのか？

- ・保全区域には人家が点在し、最下流部には県央と県北西部を結ぶ重要路線である国道353号が沢を横断している。集中豪雨時における土石災害を防止するため、今後においても本溪流の保全対策は重要、且つ不可欠であり、事業の必要性に変化はない。

保全対象
(人家)



保全対象
(国道353号)



4. 目的を達成するための事業(手段)は適当か？

- ・堰堤により上流からの土石流を捕捉することができ、地域が保全されるため、事業の効果は非常に大きい。

2号堰堤
(完成)



費用便益分析

		計画・前回再評価時		今回再評価時		備考	便益説明
算出根拠マニュアル		土石流対策事業の費用分析マニュアル(案)		土石流対策事業の費用分析マニュアル(案)			
基準年		H13		H22			
区分	項目	現在価値	構成比	現在価値	構成比		
費用 (千円)	工事費	443,000	100%	663,000	100%		
	維持管理費						
費用合計 (C)		443,000		663,000			
便益 (千円)	人的被害軽減額	303,000	50.1%	309,000	42.8%	被害区域内の人命を保護する効果 人家13戸	
	一般資産被害軽減額	268,000	44.3%	369,000	51.1%	被害区域内の家屋・家庭用品等に 係る被害を軽減する効果 人家13戸	
	農作物被害軽減額	2,000	0.5%	3,000	0.4%	被害区域内の農業生産に係る被害 を軽減する効果 耕地0.8ha	
	公共公益施設等被害軽減額	31,000	5.1%	41,000	5.7%	被害区域内の公共公益施設等に 係る被害を軽減する効果 国道50m、 市道50m、橋梁2橋	
便益合計 (B)		604,000		722,000			
費用対効果分析 (B/C)		1.36		1.09			

5. 事業が長期間要している理由は？

【 元々が長期計画

不測の事態により長期化 】

1号堰堤の計画位置付近にゴルフ場の大規模開発計画があり、事業調整を行ったが理解が得られず、堰堤位置を変更する必要が生じた。その結果、計画の再検討及び関係者との再調整等に時間を要したため、事業が長期化している。

6. 事業の対応方針は？

事業継続

事業中止

変更なし ・ 事業計画の変更 ・ スケジュールの変更

- ・本事業は、下流域の人家・国道等を土砂災害から保全することを目的としており、現在までに上流側の堰堤が完成している。
- ・本溪流は地形・地質から豪雨時において土砂災害の懸念が高く、これを未然に防止するため、事業の必要性、事業効果は現時点においても非常に高く、人命や財産保護の観点から必要不可欠である。
- ・1号堰堤に係わる残りの用地を平成23年度に取得し、平成26年度までに事業を完成させる。